

税理士会の要望実現のために活動しています

# 近畿被政連

第236号  
11月10日  
平成30年(2018年)

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 久保直己／編集人 小川由美子  
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail [info@kinzeisei.jp](mailto:info@kinzeisei.jp)



青い池（北海道美瑛町）

撮影：横田 治（東淀川支部）

- 税制改正作業と建議書・意見書・要望書について考えてみよう ..... 2
- 政党懇談会～平成31年度税制改正で協力要請～ ..... 13

## 第4次安倍改造内閣発足 11名の推薦国會議員が入閣

総務大臣	石田真敏	自民	衆・和歌山2区	
経済産業大臣	世耕弘成	自民	参・和歌山県	留任
内閣官房副長官	西村康稔	自民	衆・兵庫9区	留任
内閣府副大臣	左藤章	自民	衆・大阪2区	
財務副大臣	うえの賢一郎	自民	衆・滋賀2区	留任
経済産業副大臣	関芳弘	自民	衆・兵庫3区	
国土交通副大臣	大塚高司	自民	衆・大阪8区	
防衛・内閣府副大臣	原田憲治	自民	衆・大阪9区	
内閣府大臣政務官	長尾敬	自民	衆・大阪14区	
内閣府・復興大臣政務官	安藤裕	自民	衆・京都6区	
総務大臣政務官	國重徹	公明	衆・大阪5区	

税制改正作業と建議書・意見書・要望書について考えてみよう

近畿税理士政治連盟副会長 後安宏彦

「建議書」「意見書」「要望書(要望)」「重要建議・要望項目」が作成され、税制改正作業において、どのように利用されているのかを説明する。



後安宏彦 副会長

#### 1. 建議書（唯一、日税連のみが作成）とは

「税理士会は、税務行政その他租税又は税理士に関する制度について、権限のある官公署に建議し又はその諮問に答申することができる」と税理士法に規定されている。日税連についてもこの規定が準用される。建議書は、毎年6月頃に、全国15単位会の税理士会と日税連調研部が555項目の税制改正意約し、決定する。

## 2. 意見書（15単位会の税理士会が作成）とは

15単位会の税理士会は、税制改正等についてそれぞれ意見表明をする。そして、毎年3月頃に税理士会として統一したものとするために、「意見書」が作成される。

### 3. 要望書

建議書は、官公署に対して行なうのであるが、税制改正の作業で後述するように政党ないし国会議員等が関係してくるのである。そのため、日税連と日税政が共同で要望書を作成し、国会議員等向けのものとしている。建議書と要望書の内容は同一になっている。

#### 4. 税制改正に関する重要建議・要望項目とは

「税制改正に関する重要建議・要望項目」は、重要項目に絞り込み税理士会が一番要望したいことをピンポイントで国会議員等に陳情するため1枚ものに集約している。3つの最重要建議・要望項目と15の個別要望項目を取り上げている。

## 5. 税制改正のスケジュールと建議書・要望書等の使い方

税制改正の作業は、まず各府省庁からの税制改正要望項目が通常8月末に締め切られ、次に各種団体からの税制改正要望項目が9月20日頃に締め切られる。これらは、財務省・総務省などの行政が処理するので、税理士会は「建議書」を提出する。

次に、これらをもとに、自由民主党の14の「部会」は、各種団体からのヒアリング（10月中旬頃）と重要要望事項の決定（11月中旬頃）を行う。ここからは国会議員の出番となるため、建議書から名前を変えた要望書（1枚ものの「税制改正に関する重要建議・要望項目」を使う）をもって、税政連は10月頃から国会議員に陳情活動をしていくのである。

部会で重要要望事項に決定されたものは、党の税制調査会で再度議論される。11月20日ごろから党税制調査会総会、部会長からのヒアリング、○×審議、マル政項目審議、総会を経て、12月15日ごろに与党税制改正大綱が決定される。

このように、建議書・要望書は、税制改正の流れに合わせて作成するとともに、官公庁と国会議員等など肝心な相手先に適切な時期に陳情をしていることを理解していただきたい。

第4次安倍改造内閣発足	1	政党懇談会	13
税制改正作業と建議書・意見書・要望書について考えてみよう	2	第6回川柳・書道コンテスト応募者一覧	14
後援会ニュース	3	かんさいすずめ	15
支部連ニュース	7	銀河系	15

## 後援会ニュース

### 大岡としたか後援会 設立総会

日 時 平成30年 9月22日  
 場 所 琵琶湖ホテル（大津市）  
 来 賓 大岡 敏孝 衆議院議員  
       こやり隆史 参議院議員  
       久保 直己 近税政会長  
       田 達満 近税政幹事長



発起人の丹治健一会員が開会を宣し、来賓紹介の後、島渕裕一発起人代表より設立趣意書の朗読と説明がなされた。

続いて議長に連清春会員が選出され、全議案が可決承認され、税理士による大岡としたか後援会が設立された。そして後援会会長に就任した島渕裕一会長のあいさつがあった。

続いて来賓のこやり議員から激励のあいさつがあり、久保近税政会長から、中小企業施策における大岡議員の活動について報告があった。

そして、大岡議員より謝辞および国政報告として「万博の大坂開催の必要性、事業承継税制については様々なケースを聞かせていただいたので今後の改善に繋げていきたい」と述べた。

最後に、馬場喜久雄副会長による謝辞と閉会のあいさつがあり、設立総会は終了した。

引き続き、懇親会は田近税政幹事長の乾杯の発声により始まり、大岡議員を囲んで終始和やかな雰囲気の中で歓談がおこなわれ、畠山譲治副会長の閉会の辞により、盛会のうちに終了した。

(大津支部 小川宗彦)

### 世耕弘成後援会

日時 平成30年 8月19日  
 場所 ダイワロイネットホテル和歌山  
 来賓 世耕 弘成 参議院議員  
       久保 直己 近税政会長  
       田 達満 近税政幹事長  
       森村 透 近税政和歌山県支部連会長



税理士による世耕弘成後援会平成29年度定期大会が、堀博充会員の司会により開会し、速水慎一郎後援会長よりあいさつがあった。

鵜島幸夫会員が議長になり、29年度決算報告、30年度予算案の全議案が可決承認された。来賓の久保近税政会長は、あいさつで税政連と後援会の重要性に触れた。

世耕議員による国政報告では、まずははじめに世界各国を飛び回る経産大臣として通商政策について報告があり、引き続き、われわれ税理士にかかわりのある政府が取り組む中小企業対策、一步踏み込んだ事業承継税制について報告があった。来年度（2019年度）の元号変更、消費税、働き方改革のあと、日本経済の成長を確固たるものとするために、これから経産省が未来に向かって取り組めば、少子高齢化、人手不足、環境・エネルギー制約など日本が抱える社会問題の解決に必ずつながると述べた。

最後に、寺坂雄次後援会副会長が閉会のあいさつをし、定期大会は終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

## こやり隆史後援会

税理士によるこやり隆史後援会の定期総会が8月31日、北ビワコホテルグラツィエ(長浜市)において開催された。



来賓として、こやり隆史参議院議員、近税政より久保直己会長、田達満幹事長、近税政滋賀県支部連より織戸英信会長、竹中弘幹事長、税理士によるうえの賢一郎後援会より本城善男会長、藤居一彦幹事長が出席した。

金子紀行後援会会长より、本日の総会が風光明媚な長浜の地で開催できたこと、また税理士会の建議書を国会へ届けるために久保近税政会長を先頭に頑張っていきたいとのあいさつがあり、箕浦康之議長のもと、議案は可決承認された。

久保近税政会長から、議員に対する激励と活発な後援会活動に対するお礼、うえの賢一郎後援会会长から、日頃より議員から税理士に対して様々なご協力を賜っているとのあいさつがあった。

国政報告でこやり議員は、日本全体の人口は減少局面にあり、東京一極集中が加速している中で『地方創生』を実現すべき課題として、都市と地方の税源の偏在是正を進めていきたい。さらにアベノミクスを発展させ、テーマを変えながら議員活動していきたいと述べた。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(大津支部 小川宗彦)

## うえの賢一郎後援会

8月31日、北ビワコホテルグラツィエ(長浜市)において「税理士によるうえの賢一郎後援会」の平成29年度定期総会が開催された。来賓として、うえの賢一郎衆議院議員、近税政より久保直己会長、田達満幹事長、滋賀県支部連より織戸英信会長、竹中弘幹事長が出席した。



藤居一彦幹事長の司会のもと、本城善男会長より昨年の総選挙支援についてお礼のあいさつがなされた後、本庄秀樹副会長が議長に選出され、全議案は可決承認された。また発足から5年経過し、今後も活動を活性化させていくため、組織の再編が行われた。

久保近税政会長より「財務副大臣としてご活躍されている。重要な役職ほど地元に帰れないが、帰らなくてよい支援体制を作っていくなければならない」との祝辞があった。

その後の懇親会よりうえの賢一郎衆議院議員も参加され、税理士によるこやり隆史後援会との合同懇親会が開催された。開会後にうえの議員があいさつし、副大臣として予算編成や税制改正に取り組んでいること、来年の消費税引上げを着実に行っていくこと、自動車の環境性能割等の車体課税の抜本的見直しを行っていくこと、地元地域活性化のため税制面だけでなく、国道8号線のバイパス工事計画を進めていることなどを報告した。うえの議員・こやり議員を囲んで終始和やかな雰囲気の中で親しく歓談を行い、盛会のうちに散会となった。

(彦根支部 若林邦久)

## 岸本周平後援会

日時 平成30年9月8日

場所 ホテルアバローム紀の国（和歌山）

来賓 岸本 周平 衆議院議員

後安 宏彦 近税政副会長

森村 透 近税政和歌山県支部連会長

国政報告として、岸本衆議院議員より一昨年の9月頃、マスコミで報道され続けていた民進党解党論の真相について岸本議員から説明があり、外交・安保・エネルギー保障は現実的に自民党と変わらない国民民主党の野党としての立場や、自民党との違いについて日本が抱えている問題を踏まえて報告があった。また、台風21号で被災した地元を廻って気づいたことなど率直な感想を述べ、教訓を政治に生かしていくなければならないと述べた。



次に、定期大会に移り、瀬藤啓司会員の司会により開会し、大西省悟後援会会长よりあいさつがあった。鵜島信二会員の議事進行により、上程された議案はすべて可決承認された。

続いて、後安近税政副会長の祝辞と中北茂寛会員による閉会あいさつがあり、定期大会が終了した。

定期大会終了後、大西後援会会长より岸本議員へ税制改正に関する要望書を手渡した。

その後、森村近税政和歌山県支部連会長による乾杯のあいさつがあり、岸本議員との懇親会は盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

## 大塚高司後援会

税理士による大塚高司後援会定期大会が9月14日、ホテルアイボリー（豊中市）において開催された。来賓として、大塚高司衆議院議員、久保直己近税政会長、田達満近税政幹事長、高砂昭宏大阪府第3支部連会長、原田憲治後援会より田中啓允会長らが出席した。



伊藤英希幹事の司会により開会し、森田茂穎会長より、今後の税政連活動及び後援会をより大きくするための協力依頼などがあった。

次に、吉本英明議長が選任され、直ちに議事に入り、第1号議案から第5号議案についての説明があり、慎重に審議され、原案どおり満場一致で可決承認された。

総会の後、大塚議員より「万博の誘致先が大阪に決定されるよう今年の夏、ヨーロッパ諸国をまわって誘致の働きかけをしてきた。一番危惧しているのが大阪北部地震等の災害の風評被害である。大阪は大丈夫、大阪は元気ですと風評を払拭するアピールをしてきた。来年は、G20サミットも大阪で開催が予定されており、大阪の発展に向けて引き続き努力していく」と力強いあいさつがあった。

次に森田会長より要望書が手渡され、要望の陳情がおこなわれた。大塚議員から「皆様の要望に応えるべく、これからも頑張っていきたい」とのあいさつがあった。その後の懇親会では、会員と大塚議員が親しく懇談を行い、盛会のうちに閉会した。

(豊能支部 山下肇)

## 泉ケンタ後援会

税理士による泉ケンタ後援会第6回総会が、9月21日京都ホテルオークラにおいて開催された。来賓として、泉健太衆議院議員、近税政より原網宗副会長、田達満幹事長、京都府支部連より坂部浩会長、北尾剛久幹事長、税理士による前原誠司後援会より吉澤俊二会長、税理士による福山哲郎後援会より作見藏市会長、芦田勝博幹事長が出席した。



中山秀夫幹事の司会により開会し、谷明憲会長より「やっと総会が開催出来て本当に嬉しく思っている。泉議員には当選回数を重ねていただき、日本の国会を背負っていっていただきたい」とあいさつがあった。

総会後、吉澤前原誠司後援会会長の乾杯で懇親会が開催された。

泉議員による国政報告として、さまざまな問題に触れながら「野党として政権構想を示すべきだ。国会改革として提言させていただいたが、抵抗から論戦中心へ野党を変えていきたい。そこで、通常国会の党首討論では森友、加計学園問題の追及ではなく、北方領土問題と日米通商交渉の問題を取り上げた。自民党の総裁選挙での安倍晋三総裁と石破茂議員のように、与党と論戦できるような野党にしたい。消費税の軽減税率については給付付き税額控除を含めて最後までやっていく。最後に、政権交代可能なもうひとつの勢力を作るところまで持っていきたい」とあり、盛会のうちに閉会した。

(下京支部 宮本照義)

## 鶴保庸介後援会

日時 平成30年9月29日

場所 ダイワロイネットホテル和歌山

来賓 鶴保 庸介 参議院議員

久保 直己 近税政会長

田 達満 近税政幹事長

下津正也副幹事長の司会により開会し、川邑宗司会長よりあいさつがあった。続いて、淡路満幹事の議事進行により、全議案が満場一致で承認された。来賓の久保近税政会長より、今年6月の地震から9月の台風に対するお見舞と定期大会開催の祝辞があり、森村透和歌山県支部連会長のあいさつで定期大会は閉会した。



次に、上野隆也副幹事長から鶴保議員に消費税の単一税率と請求書等保存方式の維持についての政策提言があった。続いて、国政報告会では、ミクロの政策において、結果を出さなければ意味がないこと、また、日本の免税制度、防災、インフラ整備、IWC（国際捕鯨委員会）及び平和安全法制について、矛盾点などを折込ながら最新の国政報告を行った。

下津副幹事長の司会のもと淡路幹事の一層の後援会会員数の増強を促す乾杯の発声により懇親会を開催した。鶴保議員の20年間の議員活動のDVDが流され、終始会話は途切れることなく、台風が近づく中、最後まで会員との歓談が続いた。最後に、刀祢真大会員による閉会謝辞をもち、懇親会は盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

## 支部連ニュース

### 大阪府第1支部連

8月21日に大成閣（大阪市）において、第1支部連第23回定期大会が開催された。来賓として、衆議院議員の柳本卓治議員、左藤章議員、大西宏幸議員、参議院議員の松川るい議員、杉久武議員、脇阪説男近税政副会長が出席した。



小林邦雄会長のあいさつに始まり、司会は山川典男幹事長、議長には坂井純造会員が選任され、第1号議案から第4号議案までの議案は滞りなく可決承認された。終わりにあたり、脇阪近税政副会長が久保近税政会長のメッセージを代読し、併せて政治連盟の会費収納率は若干の上昇はあるものの、更なるアップを期待したい旨を述べた。

国政報告会では、国際間トラブルの仲裁問題に対する対処の問題、米中の貿易戦争（霸権の争い）、北朝鮮問題、これまでのヨーロッパが変質しつつあることなど、日本の外部環境の変化が危機に瀕することとその防衛に関する課題、野党の審議拒否による国会の停滞、マスコミ報道では伺うことのできない、興味津々の話があった。

続く懇親会は、松川議員の出席もあり、南野昌信会員の司会のもと、小林会長のあいさつ、今井基剛会員の乾杯に始まり、和気あいあいのうちに、脇阪近税政副会長の中締めで終了した。

(天王寺支部 倉矢勇)

### 大阪府第2支部連

大阪府第2支部連合会の定期大会が8月31日、ホテルモントレ ラ・スール大阪にて開催された。

来賓として、衆議院議員の北川知克議員、中山泰秀議員、平野博文議員、國重とおる議員、参議院の尾立源幸前議員、吉田おさむ元議員、河田秀雄近税政副会長が出席した。



田野卓也幹事長の司会で開会し、西川一博会長より平素の活動に対して、会員への感謝及び今後の運動への一層の協力を願う旨のあいさつが述べられた。

次いで、神吉康史副会長が議長となり、慎重審議の結果、原案通り可決承認された。

また、来賓の河田近税政副会長よりあいさつがあり、定期大会開催の祝辞が述べられるとともに、会費収納率についての会員協力の必要性についての周知依頼がなされた。最後に引地和生副会長より閉会のあいさつがなされ、定期大会は終了した。

その後、国政報告会となり、北川議員が環境対策、中山議員が事業承継税制、平野議員が都市と地方の格差について報告し、國重議員、尾立前議員、吉田元議員からもそれぞれの活動状況についての報告があった。引き続き懇親会が開催され、会員同士の親睦が図られ、盛会のうちに閉会した。

(城東支部 村川儀晃)

## 大阪府第3支部連

日時 平成30年 8月29日  
 場所 豊能納税協会（池田市）  
 来賓 大塚 高司 衆議院議員  
 河田 秀雄 近税政副会長



司会による来賓紹介のあと、高砂昭宏会長より、衆院選についてのお礼があり「スマートフォンによる電子決済が世界的に進展している。時代とともに取引も変化し、それにより税理士の仕事も変化する。取引には、必ず法律が絡んでくる。法が追い付かないことも起こり得る。こうした事態を想定して税政連としてどうすべきか考えなければならない。われわれ税理士が、現場で気付いた税や取引に関する法整備を国へ建議していく。そのためには、われわれの考え方を理解していただける議員を応援していく必要がある」とあいさつがあった。

続いて議案審議に入り、全ての議案が原案どおり満場一致で可決承認された。

来賓の祝辞として、河田近税政副会長から「税政連活動に無関心の会員でも、等しく利益を享受しているということを理解していただき、会費の納入をお願いしたい」とあいさつがあった。

懇親会では、大塚議員より「議院運営委員会理事として審議した政策担当秘書の選考採用審査認定を受けることができる者に税理士が追加された。これからも皆様の意見をいただきながら頑張っていく」とのあいさつがあり、終始和やかな雰囲気の中、盛会のうちに閉会した。

(豊能支部 山下肇)

## 大阪府第4支部連

日時 平成30年 9月 5日  
 場所 ホテルアヴィーナ大阪  
 来賓 脇阪 説男 近税政副会長



濱田明久副会長の開会宣言があり、弓手宏亮会長より、税政連が行う税制改正への取り組み、税理士法改正への取り組み、公益的業務への税理士の参入についての取り組み、後援会活動等の公職選挙に対する支援活動などについて説明があった後、会費の納入率が上がってきていることへの感謝を述べるあいさつがあった。

次に、瀧藤憲彦副会長が議長に選出され、議事に入り、第1号議案から第4号議案まで、原案どおり、すべての議案について可決承認された。

その後、来賓として脇阪近税政副会長より、会費収納率向上に対するお礼、税政連の活動の成果として国会議員の政策秘書となる道が開けたことなど、税理士制度の発展のための税政連の必要性について説明があり、今後も協力のお願いを述べ、久保直己近税政会長のメッセージを代読披露した。

裏野榮士副会長が閉会を宣し、定期大会は終了した。

引き続き、嶋田薰副幹事長のあいさつと乾杯で懇親会が開始された。終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われ、久富木佳史副幹事長の一丁締めで閉会となった。

(東大阪支部 梅原文晃)

## 大阪府第5支部連

日時 平成30年8月31日  
 場所 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
 来賓 谷川 とむ 衆議院議員  
       尾立 源幸 前参議院議員  
       辻井 賢博 近税政副会長



呑海英治 支部連会長

大阪府第5支部連合会定期大会が木戸朋宏幹事長の開会宣言により始まった。物故会員に默とうを捧げた後、呑海英治会長のあいさつと続き、北野信成会員を議長に選任後、直ちに議事に入った。

議案については、第1号議案から第4号議案まで全議案、慎重審議の後、可決承認された。議案審議終了後、執行部が近税政に関する質問があればと会員に募ったところ、藤原博文会員から、会費の納入率に関する質問があった。執行部より回答後、税政連活動の中での会費の重要性についての言及があった。その後、辻井近税政副会長より来賓祝辞があり、高岩弘至副会長の閉会のあいさつで定期大会は終了した。

懇親会では、呑海会長のあいさつの後、来賓の各議員から国政報告が行われた。総裁選の事や今回の税制改正に向けての動きが本格的に始まった事などについて触れられた。

脛馬義宏副会長の乾杯の発声後、和やかな歓談が続き、安藤治彦副会長の中締めで盛会のうちに懇親会も終了した。

(泉大津支部 笠井慎五)

## 京都府支部連

京都府支部連合会の第36回定期大会が8月24日、ホテルグランヴィア京都において開催された。来賓として、衆議院議員の伊吹文明議員、泉健太議員、安藤裕議員、参議院議員の西田昌司議員、福山哲郎議員、二之湯智議員、門川大作京都市長、近税政からは原綱宗副会長、近税会京都府支部連より森敏行会長が出席した。



坂部浩 支部連会長

●伊吹文明議員 あいさつ要旨：将来の社会保障に対する不安はあるが、財政再建により安心感を醸成できる。

●西田昌司議員 あいさつ要旨：消費税の複数税率と税率アップについては更なる議論をすべきと意見具申している。

●福山哲郎議員 あいさつ要旨：アベノミクスに対する評価であるが、個別に見ると実質賃金は上昇していないように思う。

●泉健太議員 あいさつ要旨：世代間の所得格差是正のためには、所得再分配の必要性がある。

●二之湯智議員 あいさつ要旨：未だかつてない人口減少社会、高齢化時代をむかえ、持続可能な社会をどう構築していくかという課題に取り組んでおります。

●安藤裕議員 あいさつ要旨：デフレ不況から完全に脱却し、日本経済を成長させるには思い切った財政出動が必要。

●門川大作市長 あいさつ要旨：インバウンド効果による観光税の增收に期待をしたい。

(上京支部 東智之)

## 兵庫県第1支部連

9月3日、神戸三宮東急REIホテル（神戸市）において、兵庫県第1支部連合会第37回定期大会が開催された。

来賓として赤羽一嘉衆議院議員、盛山正仁衆議院議員、伊藤孝江参議院議員、原綱宗近税政副会長、橋本恭典神戸税理士協同組合理事長が出席した。



今中明子幹事長による司会のもと、相内隆作近税政神戸支部長による開会宣言がなされ、寺内設昭会長より、日頃の税政連活動の取組みに感謝する旨のあいさつがあった。

そして議長に山本勝美会員が選出され、議事に入った。第1号議案から第5号議案まで、全て原案通り、可決承認された。

続いて来賓より、原近税政副会長「さらなる積極的な税政連活動を」と、橋本神戸税協理事長「税理士会、税政連、協同組合が協力し、三位一体での活動を」とのあいさつがあった。

引き続き議員より、日頃の支援に対する感謝の意とともに、盛山議員「国民が安心して安全な暮らしが送れるよう、国土交通分野で尽力する」、赤羽議員「中小企業対策に力を注いでいる」、伊藤議員「女性税理士の働き方の声を聞き女性の活躍推進に関する政策へと繋げたい」とのあいさつがあった。

最後に、麻木邦子芦屋支部長により閉会の言葉が述べられ、定期大会は終了した。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。  
(芦屋支部 吉田智代)

## 兵庫県第2支部連

兵庫県第2支部連合会の定期大会が、8月24日にグリーンヒル明石にて開催された。来賓として金子紀行近税政副会長が出席した。



定期大会は、藤本晃会員による司会で、北村光子兵庫県第2支部連会長による開会のことばからはじまった。

その後、田中勇治会員が議長に選出され、直ちに議案審議に入り、第1号議案から第4号議案まで、慎重な審議ののち、原案通り、全ての議案について可決承認された。

定期大会は下山仁会員のあいさつで閉会し、その後役員・代議員会が開催された。

役員・代議員会では、藤本秀樹会員による開会のことばの後「近畿税理士政治連盟の意義」の確認とその魅力の発信方法について審議が行われた。

金子近税政副会長による来賓あいさつとして、久保直己近税政会長からのメッセージの代読と、税政連の活動についての説明があり、日本の税制のあるべき姿への提言として日税連の理事会で決議された建議書と同じ内容のものを日税政にて要望書として決議し、政府に要望しており、現在、政府は消費税の軽減税率（複数税率）制度導入は決定事項としているが、引き続き廃止の要望をしていきたいと説明があった。最後に、小川幸夫会員の閉会のことばにより役員・代議員会は閉会となった。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。  
(明石支部 川淵佳子)

## 兵庫県第4支部連

日時 平成30年9月6日

場所 姫路商工会議所

来賓 田 達満 近税政幹事長



司会の春名毅幹事長より、中野真会員が議長に選出され、全議案が可決承認された。

### ○田達満近税政幹事長 あいさつ

冒頭、亡き徳富勲副会長に対して、1分間の黙祷を行った。そして徳富副会長は長きに渡り、副会長として税政連のために尽力され、生前のご遺徳とご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げますとの言葉があった。以前からの課題である、会費の収納率向上と、後援会活動の活性化、さらに今後は支部連の活動の活性化にも力を注ぎたい。そしてこれから支部連大会に議員にも出席していただきたいとの話があった。続いて、久保直己近税政会長のメッセージの代読があった。

### ○後藤加代子 第4支部連会長 あいさつ

松本剛明議員と山口壯議員には、いつも熱心な活動をしてもらっている。特に確申期における税務相談においても、常に出席していただき感謝しております。もし選挙があれば、両議員を全面的にバックアップしていくので、皆様方のお力添えをよろしくお願いしますとの話があった。

続いて行われた懇親会は、盛会のうちに終了した。

(姫路支部 上野政則)

## 奈良県支部連

日時 平成30年8月18日

場所 春日ホテル（奈良市）

来賓 衆議院議員：小林茂樹議員、高市早苗議員、田野瀬太道議員、奥野信亮議員、参議院議員：佐藤啓議員、辻井賢博近税政副会長、西垣潔近税会奈良県支部連会長



●山本眞市支部連会長のあいさつ：昨年の衆議院議員選挙では、区割変更があったが、推薦した議員全員が当選し、皆様のご尽力に感謝いたします。

●高市早苗議員のあいさつ：災害対策として、災害弱者へ無線受信機を個別交付することを自治体と協力して進めている。

●小林茂樹議員のあいさつ：今回初当選させていただき感謝いたします。今後はさらなる税の公平性を目指し、努力していきたい。

●田野瀬太道議員のあいさつ：今後 TPP や E PAにより関税無しで取引できる環境づくりができるいけば、日本の経済も上昇していく兆しが見えてくると思う。

●佐藤啓議員のあいさつ：毎年の税制改正ではどうしても短期的な議論になってしまいがちであるが、長期的な議論が必要であり、これからも税理士会に建議をお願いしたい。

●奥野信亮議員のあいさつ：総務副大臣として総務省と仕事をしているが、いま地方税の改正について議論をしている。

(葛城支部 吉田廣彰)

## 和歌山県支部連

日時 平成30年9月1日

場所 ホテルアバローム紀の国（和歌山市）

来賓 岸本 周平 衆議院議員

石田 真敏 衆議院議員

後安 宏彦 近税政副会長

定期大会は、島紀郎会員の司会により開会し、森村透会長のあいさつ後、来賓の石田衆議院議員より「かねてから税理士による石田真敏後援会の岸友子後援会会長より、政策担当秘書の資格取得制度見直しに関する陳情があり、ようやく税理士が、国会議員の政策担当秘書の選考採用審査認定を受けることができる者に追加され、改正規程は、本年9月1日から施行されることとなった。今後、税制改正において、その能力が十分発揮され、公平な税制の確立と申告納税制度の維持・発展につながることを期待する」と国政報告があった。



岸友子会員が議長に就任し、全議案可決承認された。後安近税政副会長より、久保直己近税政会長からの祝辞代読、祝電披露の後、川口昌紀副会長のあいさつで、定期大会は閉会した。岸本議員より国政報告があり、9月4日に投開票される国民民主党代表選について国民民主党をどのように導こうとしているのか、党の攻勢をどう考え、他党との共闘、与党との対峙のあり方などを報告した。

引き続き、加藤正彦副会長の乾杯で懇親会を開催した。

(和歌山支部 小西里枝)

## 滋賀県支部連

9月3日、ホテルボストンプラザ草津びわ湖において、第37回定期大会が開催された。来賓として、うえの賢一郎衆議院議員、大岡敏孝衆議院議員、近税政より久保直己会長が出席した。



箕浦康之副幹事長の司会のもと、伊藤孝夫副会長が開会宣言を行った。織戸英信会長のあいさつがあり、昨年の衆議院議員選挙対応へのお礼、政界引退による税理士による川ばた達夫後援会の解散、税理士による大岡としたか後援会の設立予定が報告された。

続いて、井上信彦会員が議長に選出され、竹中弘幹事長、吉川孝二幹事による各議案の説明及び提案があり、全議案は可決承認された。

久保近税政会長より国会議員政策担当秘書の選考採用審査認定を受けることができる者に税理士の要件が追加されたことが報告された。続いて、うえの賢一郎後援会より本城善男会長、こやり隆史後援会より金子紀行会長があいさつした。最後に堀井孝一郎副会長が閉会宣言し、定期大会は滞りなく終了した。

その後開催された懇親会では、両議員も参加し、財務副大臣であるうえの議員より来年に迫った消費税率の引上げについて着実に行っていくこと、大岡議員より中小企業診断士の資格を取得している視点から中小企業対策についてのあいさつがあった。両議員団んで終始和やかな雰囲気の中で親しく歓談を行い、盛会のうちに散会となった。 (彦根支部 若林邦久)

## 政 党 懇 談 會

## ～平成31年度税制改正で協力要請～

近税政本部では、平成30年9月3日に公明党大阪府本部、9月11日に立憲民主党大阪府連との懇談会にそれぞれ参加した。

懇談では、平成31年度税制改正について、以下の重点要望事項を中心に中小法人に与える影響等について説明を行い理解と協力を求めた。

- ・「消費税における単一税率及び請求書等保存方式を維持すること」
  - ・「所得計算上の控除から基本的な人的控除へのシフトを進めるとともに、基礎的な人的控除のあり方を見直すこと」
  - ・「償却資産に係る固定資産税制度を抜本的に見直すこと」



公明党（大阪府）



立憲民主党（大阪府）

監修：日本税務会計学会 税法部門副学会長

税理士 宮森 俊樹

A4判・総14頁 定価 410円(税込)

# 第6回川柳・書道コンテスト応募者一覧

6月8日に応募を締め切りました「第6回川柳・書道コンテスト」にたくさんの方々のご応募いただきありがとうございました。

[東支部]	[住吉支部]	[堺支部]	栗井 伸輔	[下京支部]	扇谷 寿郎
榎家 小鈴	安部 隆史	安藤 治彦	稻垣 一則	北尾 剛久	木部 直樹
[西支部]	池上 弘美	大谷富太郎	岩佐 伸彦	原 綱宗	久保 正義
尾立 源幸	石山 学	[泉佐野支部]	上村 洋文	[右京支部]	倉永富美子
鳥家 誠	落龜 博	高橋 克広	北秋 勝己	中江 嘉和	黒松 定夫
[南支部]	金井恵美子	香海 英治	酒井 稔	[東山支部]	米田 昌弘
若林日出紀	川崎 玉樹	根末 和夫	関谷 洋子	作見 藏市	辻井 賢博
[北支部]	仕田原恒雄	昼馬 義宏	高砂 昭宏	[伏見支部]	中西 康晴
黒石 健弘	多田 一博	[茨木支部]	高原誠一郎	木戸 義人	西田 吉富
[福島支部]	寺田 伸謙	高岸 直久	田中 順也	[福知山支部]	東岡 英雄
西川 一博	田 達満	[吹田支部]	永田 強士	藤原 洋子	藤田 徹
[大淀支部]	富岡 千晴	石井 碧八	水 健	[神戸支部]	村野 幸司
佐藤 裕之	永田 欣也	上西佳代子	森田 茂稔	相内 隆作	森村 博史
福田 平司	西田 豊	大内 将弘	守部 浩二	樽井 博	森本 雅三
[西淀川支部]	西村 拓真	大川 雅子	山下 勤	[灘支部]	山本 眞市
仲田むつみ	西村 敏之	岡本 昌平	山下 肇	長谷川隆史	吉田 廣彰
[旭支部]	服部 浩之	小倉 肖	[上京支部]	[長田支部]	[和歌山支部]
天野香鶴子	服部 行男	金子 薫	東 智之	下田 順司	後安 宏彦
新田 博之	廣瀬 昌子	金子 真也	江南 和真	[芦屋支部]	小西 里枝
見浪 一敏	堀 茂仁	九鬼 章泰	奥村伊之春	麻木 邦子	速水慎一郎
[城東支部]	増田 和博	黒岩 哲夫	小倉さやか	吉田 智代	[大津支部]
河田 秀雄	山下由美子	高木 晴雄	近藤 明夫	[西宮支部]	小川 宗彦
小寺 隆弘	山田 信也	谷 義孝	田中 喜雄	森本 幸子	金子 紀行
[天王寺支部]	余島 守	畠 忠蔵	中元 亜紀	[奈良支部]	久保 直己
山本 敬三	脇坂 肖	平山 直樹	波部 裕美	東 真由美	和澤 清隆
[東成支部]	[富田林支部]	福田 洋子	馬場佳代子	景山 良一	[草津支部]
吉原 淑美	大谷 邦彦	古川 裕	前田 勝行	島田 明	中川 徳親
[阿倍野支部]	瀧藤 憲彦	吉川 久子	水野由佳子	武野 勝文	[水口支部]
小林 邦雄	[東大阪支部]	米田 益男	溝上 太郎	[葛城支部]	木田 嘉明
[西成支部]	上西 知	脇 大輝	室谷 澄男	岩崎 年秀	[彦根支部]
中山 彰	首藤 直樹	[豊能支部]	矢田 善久	植田 眞弘	中村 嘉造
	吉田 信次	安積 重和	渡邊 重樹	植田裕美子	

※入賞作品につきましては、近畿税政連237号（平成31年新年号）に掲載させていただきます。

## 横須賀軍港めぐり

9月の連休中「軍港めぐり」が人気という、神奈川県横須賀の街を散策してきました。軍港めぐりは、横須賀港に停泊している艦船を見る事ができるもので、年々人気が出ていると聞き、訪れることにしました。同様の軍港めぐりは、吳、佐世保、舞鶴でもあるそうですが、アメリカ海軍と海上自衛隊の艦船を同時に見るのは横須賀のみとあり、軍港めぐりへの乗船は大人が多く、賑わっていました。



乗船後は案内人の解説を聞きながら45分間、多くの護衛艦、潜水艦を見ていきました。やはりこれら艦船の大きさ、数の多さに驚きました。そして乗客が手を振ると、作業中であろう海上自衛隊の人達も、手を振り返してくれました。また主力であるアメリカ海軍の航空母艦「ロナルド・レーガン」は出港中のため、見ることができず残念でした。さらに先月からの豪雨、台風、地震による災害支援から戻ったばかりという、多くの水を積むことのできる艦船もありました。艦船の設備、技術力が向上し、製作、維持管理のため、さらには防衛力強化のため、多くの費用が必要となっているとの事でした。

財政へ視点を移すと、平成30年度の防衛関係費は約5兆円、増加傾向にあります。歳出全体の約5%と僅かでしょうが、日頃は遠い存在と感じる海上自衛隊も、重要な役割を担っている事を感じました。また租税教室を開くと、税金の使われ方、財政について触れていて、機会があればこのようなお話をしたいです。下船後は、海上自衛隊では毎週金曜日に食べるという、海軍カレーをいただいて、帰路につきました。

(芦屋支部 吉田智代)

## 近税政本部のうごき

### ○第1回財務委員会（9月21日）

- ・平成30年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・会費収納率の向上策について 他

### ○第1回後援会対策委員会（9月25日）

- ・平成30年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・税制改正要望について
- ・支部長・支部連会長・後援会会长連絡会議の開催について 他

### ○第1回政策委員会（10月3日）

- ・平成30年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・税制改正要望について 他

### ○第3回広報委員会（10月4日）

- ・平成30年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・「第7回川柳・書道コンテスト」について
- ・機関紙第236号（11月号）の編集に関する件
- ・機関紙第237号（新年号）の編集企画に関する件 他

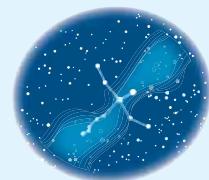
### ○国対・選対合同委員会（10月5日）

- ・平成30年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・税制改正要望について
- ・次期参議院議員通常選挙に向けて 他

### ○第1回組織委員会（10月11日）

- ・平成30年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・支部連活動の活性化について
- ・会員研修会の開催について 他

## 銀河系



台風19、20、21号による大きな被害が出た長野、新潟、大阪、奈良、和歌山5府県の9市町村を国が激甚災害に指定した。被災の影響が出た空港や電力などインフラの緊急点検を実施し、11月末をめどに対策を取りまとめる方針である。激甚災害に指定されると、国からもらえる補助金の割合が9割ほどに増加する。自然災害など個人の責任でないものは誰もが助けてほしいと思うのが、災害発生時において行政の救助、公的支援による生活再建には限界があることを踏まえ、災害への備えを「自分ごと」と捉え、国民一人一人が自ら行動するための契機を提示し、国民意識の転換を図ることが必要である。政府が補助金を出すことでも復興は早まるかもしれないが、ボランティアに参加したり、募金をすることの方が大きな力になることもあるので、そういう意識も必要なのではないか。

(和歌山支部 小西里枝)

「焦点」題字:「第5回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 最優秀会長賞(作=今田幸史 伊丹支部)

「表紙」題字:「第5回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 優秀賞 (作=黒石健弘 北支部)

# 大阪・奈良税理士協同組合 創立40周年記念

## 第29回「総合事業保障プラン」推進キャンペーン

阪奈税協は、近税共済会の委託を受け、「総合事業保障プラン」のさらなる推進活動の一環としてキャンペーンを実施しています

### 期間

第1次：平成30年 6月 1日～平成30年 7月 31日(2ヵ月間)

第2次：平成30年 10月 1日～平成30年 11月 30日(2ヵ月間)

年 間：平成30年 4月 1日～平成31年 3月 31日(12ヵ月間)

### 表彰基準

(1) 年払、半年払の保険料(P)は、1ヵ月分の保険料(P)に換算  
(1/12、1/6)

(2) 介護定期保険の保険金額(S)は、死亡保険金額で換算

### 表彰式・祝賀会

場所	日時
リーガロイヤルホテル	2019年5月13日(月)



・特別賞～奨励賞までは、重複して表彰いたしません。

・上記表彰の該当者は、表彰式・祝賀会にご招待します。

・重大なゴンブライアンス違反等があった場合、表彰対象外になることがあります。

・特別賞の報奨金は、消費税込・源泉所得税控除後の手取り額です。

・受賞者が受け取る受賞に伴う賞品・賞品は、課税所得の対象となり申告義務が生じますので、適正な申告をお願いいたします。

・その他の賞や詳細については実施要領をご確認ください。

・やむを得ない事情により、表彰内容が変更になる場合がございます。

### 登録代理店表彰

### 特別賞

報奨金贈呈

**80万**

280万円以上  
(保険料月額)  
or  
28億円以上  
(保険金額)

**60万**

210万円以上  
(保険料月額)  
or  
21億円以上  
(保険金額)

**40万**

140万円以上  
(保険料月額)  
or  
14億円以上  
(保険金額)

**20万**

70万円以上  
(保険料月額)  
or  
7億円以上  
(保険金額)

**15万**

50万円以上  
(保険料月額)  
or  
5億円以上  
(保険金額)

### 紹介税理士表彰

**20万**

100万円以上  
(保険料月額)  
or  
10億円以上  
(保険金額)

**15万**

70万円以上  
(保険料月額)  
or  
7億円以上  
(保険金額)

### 登録代理店表彰

### 紹介税理士表彰

**2万円(商品券)**

30万円以上(保険料月額)  
or  
3億円以上(保険金額)

**1万円(商品券)**

50万円以上(保険料月額)  
or  
5億円以上(保険金額)

### 優秀賞

**5千円(商品券)**

30万円以上(保険料月額)  
or  
3億円以上(保険金額)

### 登録代理店表彰のみ

### 理事長賞

保険料月額の上位3名様  
保険金額の上位3名様

**1位**

10万円(商品券)  
+ 表彰状

**2位**

7万円(商品券)  
+ 表彰状

**3位**

5万円(商品券)  
+ 表彰状

### 第1次・第2次 キャンペーン賞

**1万円(商品券)**

10万円以上(保険料月額)  
or  
1億円以上(保険金額)

### 紹介税理士表彰

**5千円(商品券)**

10万円以上(保険料月額)  
or  
1億円以上(保険金額)

### 奨励賞

### 表彰式・祝賀会 ご招待

10万円以上(保険料月額) or 1億円以上(保険金額)

近税共済会(近畿税理士企業共済会)

とは…大同生命と業務提携による  
「総合事業保障プラン」(専用商品)を  
販売しています。3つの繁栄を基本理念とし  
保険事業を中心とした活動を行っています。

税理士事務所の繁栄

開港の繁栄



# 大阪・奈良税理士協同組合